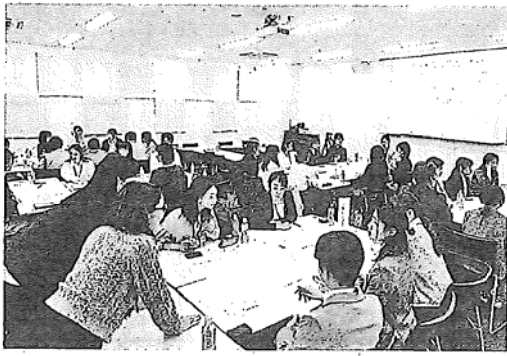


# 「働き方」で意見交換

## 女性技術者交流会を開催

建コン協九州

（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部は30日、第8回女性技術者交流会を開催した。今回のテーマは「私のワークインライフとLifeの関係性」。参加者は、仕事とプライベートの関係性の中で生じるさまざまな出来事やそれらにまつわる経験、さらには所属企業の働き方に係る取り組み等について情報や意見を交換することで、それぞれのワークインライフのカタチなどを探った。



交流会は、建コン協九州支部の「女性技術者委員会」が企画し、今年度第8回目となる。福岡

市博多区のJR博多シティ会議室の会場には男女約40人の技術者等が参加したほか、オンラインでも約50人が聴講した。開会に当たり、女性技術者委員会の竹尾美幸委員長（基礎地盤コンサルタンツ）があいさつし、同委員会の活動理念をはじめ、過去の交流会と開催テーマなどについて紹

介。この日の交流会の意義について「皆さんが抱えている課題の解決にまで至れるかは分からないが、情報交換を通じて、いろいろなやり方や考え方があんだなど感じ、今後の参考にしてみたい」と述べた。

交流会は2部構成で進められ、会場とオンラインでの参加となる前半の部は、5人の女性技術者が登壇し、「わたしの働き方」とのテーマで講演。「仕事と子育ての両立」や「土木技術者として働く」との意義、「管

理職となることの良さ・メリット」等について、自身の仕事やプライベートに対する考え方、心の持ちよう、仕事を進める上で心掛けていること等を紹介した。

後半では、仕事と私生活の関係性などをテーマに、会場の参加者が5つのグループに分かれて情報を交換し写真。それ

ぞれの所属会社における生産性向上・業務効率化に係る取り組み、休暇や福利厚生制度、仕事との両立を図るためのプライベートの過ごし方、職場内での人間関係などについて語り合った。

また、交流会の締めくくりに各グループの代表者が、情報交換の中で挙げられたさまざまな意見や参考になった事例などを発表。「先輩技術者から早めの資格取得が大事とのアドバイスをいただきたい。今後キャリアを積んでいく上で参考にしていきたい」「育児取得した社員の所属部署にインセンティブを与える企業も

あり、その制度を活用して男性2人が育児を取得したとのこと。1カ月と2カ月の期間だったというが、それでも妻にすれば大きな助けになる」「会社からは上司が残業している等の理由による『付き合い残業はやめましょう』との指導を受けている」等の声が上がった。